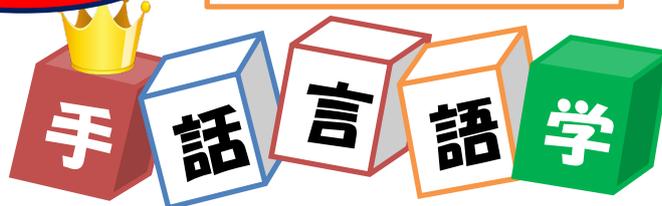


全学部対象

秋学期 授業開講案内



専門

KWANSEI
GAKUIN
UNIVERSITY

手話は一見ジェスチャーのように見えますが、決してそうではありません。手や顔の表情を組み合わせることで単語が作られ、文になる手話。そこには日本語や英語などの音声言語と同じように、仕組みがありルールがあります。それを「手話言語学」と呼びます。

春学期「手話言語学基礎」に続き、秋学期「手話言語学専門」講座を開講します。私たちが普段何気なく使っている日本語などの音声言語に意識を傾け、比較をしながら手話言語の世界を紐解いていくような内容です。

春学期の「手話言語学基礎」を履修していない方でも履修可能です。「ことばが好き」「手話に前から興味があったが学ぶ機会がなかった」「もっと手話についての知識を深めたい」- そんな方にピッタリの授業です。

詳細はシラバスをご確認ください。みなさまの受講をお待ちしています！



Q: どんなことを学ぶの？

A: 日本語などの音声言語との比較を通して、手話言語の性質をさらに掘り下げ、人間の言語が持つ本質に触れていきます。

Q: 開講場所は？

A: 上ヶ原キャンパス G号館 (人間福祉学部)「326 教室」です。

Q: 秋学期の開講時間は？

A: 月曜5限です。

Q: 対象生は？

A: 3年生以上の**全学部生**が対象です。

～スタッフよりひとこと～

A: 手話は知れば知るほど面白く、非常に奥深い言語です。手や顔、そして目の前の空間が言語ツールになる手話の魅力を、たっぷり味わってください！



～授業の様子～

講座内容 (一部)

- 人間のことば(言語)とは
- 手話のしくみ
- 手話表現の特徴(ロールシフト等)
- ろう児の手話の発達
- 手話の多様性



担当講師 (敬称略)

- ・松岡和美
(慶応義塾大学教授)
- ・馬場博史
(関西学院大学非常勤講師)
- ・前川和美
(関西学院大学手話言語研究センター助教)



センターHP

<お問い合わせ先>

関西学院大学手話言語研究センター (大学図書館3階)

Tel: 0798-54-7013 Fax: 0798-54-7014

Email: slrcenter@kwansei.ac.jp (担当: 平・前川・下谷)



※この授業は、日本財団の助成を受け、手話言語研究センター事業の1つとして開講されています。